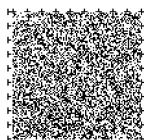
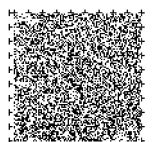


2-6 自由意見

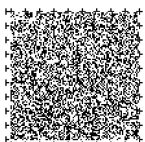
- インフレが解消される保障はなく、更に進む可能性がある。そうなった時に、目減りした給付費での運営を強いられるのは困る。
- 近年、安定して通所できる利用者は給付型の事業所（就労 A、B 等）を利用し、地活には病状の不安定な方や、高齢の方の利用者が増えている。当事業所も登録者数は横ばいであるが、通所率は年々下がっている。職員は通所者の自宅訪問や通院同行、他の支援機関とのネットワークを作り関係しながらの対応が必要になるケースが増えており、業務の量、質共に向上している。区にはこのような状況をご理解いただき、職員確保と待遇改善のための補助金の拡充を検討してほしい。
- コロナ感染拡大防止のため、利用が減少しているため、事業が赤字であり、職員の賃金が上げられない。
- 就労移行支援の利用にあたって、金銭面の不安から利用を断念される方が多くいる。サービス利用期間中の金銭サポートや、可能な範囲でのアルバイトとの併用が認められると、多くの方が安心して利用できるのではと考える。
- 相談支援事業所とのやりとりや連携を今以上に密にできるように体制を整えてほしい。
- 福祉分野で働く人材の確保が非常に難しい。物件、家賃高のため、事業の場所の確保が難しい。これらについての自治体からのサポートがほしい。
- グループホームを増設してほしい。
- さくらんぼレスパイトの利用回数を増加してほしい。
- グループホームやヘルパー事業所への検査指導や移動支援、身体介護なしの方は報酬単価が低くどこの事業所も受け入れてもらえない。利用しやすい仕組みづくりが必要である。



- 区のケースワーカーの方が忙しすぎるように思われるため、他区で実施されているような認定調査の外部委託を実施してほしい。
- 基幹相談支援センターに、主任相談支援専門員を配置してほしい（常時でなくても良いので、スーパーバイズを受ける機会がほしい）。
- 豊島区内に、知的障害者向けのグループホーム（軽・重度）を整備してほしい。
- 社会資源について、相談員も調べるが、行政にしか入らない情報もあると思うのでケースワーカーからも情報提供してほしい。
- 特に成人のかたの医療的ケアのできる短期入所施設が必要である。区内で難しければ他区との連携ができる体制にしてほしい。
- どうか機会に触れる事自体が少ない当事者のかたの事を大切に考えてほしい。
- 給付費の見直しや重度訪問の単価改善が進んでほしい。
- 研修等には参加し、もっと理解を深めていきたい。
- 区独自の福祉現場で役立つ知識や資格取得のための講習や支援を増やしてほしい。
- 有能なスタッフがなかなかみつからず、良い支援ができていない。
- 勤務時間も夜勤を含むため、利用者確保より職員確保が難しい。
- 障害者の自立は、たしかに大事であるが、それよりも安全に通学・通所・暮らせる事が最優先だと思う。自立という名の元に、放置、放棄、手抜きが行われているように感じる場面がある。具体的には、なぜ高校生になったら、特別支援学校のバスに乗れなくなるのか。特に女性は、朝夕の通学中に危険を多くはらんでいる。朝の移動支援は、ほとんど受けられないため、乗り合いでもいいので、安全に通学できる送迎支援があると良い。



- 豊島区・新宿区は土地の単価が高く、特別支援学校を作るのは難しいかもしれないが、特別支援高等学校だけでも設立してほしい。今ある、王子・練馬・板橋・大泉ともにとても遠く、高校生になると中野特別支援の児童以外の受け入れができない。
- 視覚障害児の放課後利用を円滑にするため対策や検討をしてほしい。
- 土曜日、日曜日、祝日、長期休暇などの障害者の居場所や活動の充実を図ってほしい。
- 精神障害の方の移動支援の充実を図ってほしい。
- 通院同行や同席、記録の作成などのサポートをしてほしい。
- 余暇支援が必要である。
- パニック障害や、不安が強い方の交通機関の慣らし支援をしてほしい。
- アウトリーチ支援のネットワーク連携の強化をしてほしい。
- グループホームを運営できる物件確保が非常に困難である。物件の基準が緩和されることはないので、他に何かしらの支援をしてほしい。
- サービス提供事業所の数も、ここ数年で増加しており、株式会社やコンサルタントの参入も見られ、サービスの質の問題や事故、虐待も増加傾向にあると報告を受けている。今後、どの程度の新規参入を見込むか、一方で廃止される事業についてもある程度の目安を持って進めてほしい。
- サービスの内容についても、給付や加算にとらわれることのない、独自のサービス資源としてのあり方を念頭に置きながら事業所運営につとめ、利用者へと還元していきたい。
- 高齢者重点の事業所のため、勉強不足、ギャップを常に感じている。
- 制度の枠に入らない人や、入る人であってもニーズに応じて柔軟に支援を提供できる仕組みを充実してほしい。



- 障害者が気軽に相談でき、少し話を聞いてもらえる窓口や、気軽に寄れる場所がほしい。
- 支援者のケアをしてほしい。
- 建物老朽化により現地近くで引越しを考えているが、建物がなかなか見つからないのが現状である。

